

ドライいちごの製法・商法の権利化とブランド確立

会社概要

エイアイパイ株式会社

2009年創業、従業員11名、いちご生産・販売、観光農園

きっかけ

特許化を模索したところ、長野県地域産業活性化基金の助成を受けて開発したことにより担当組織の公益財団法人長野県中小企業振興センターから紹介を受けた。

支援内容・ポイント

観光客の土産用に長期保存が可能で、かつ、できるだけ生のいちごに近い色や香り、甘味をもつ製品の製造方法を開発し、「乾燥果実の製造方法」として特許を取得した。特許は、知財総合支援窓口の協力を得て手続きを行い、早期審査申請により出願から2か月で登録査定を得た。(特許第6317871号)

その後、地域資源製品開発支援センターの協力を得て、商品化の準備を行なった。

さらに、前記センターの協力及びデザイナーのアドバイスによって名称を検討し、知財総合支援窓口の支援によって商標登録を得た。(商標登録第6153911号)

成果

マスコミ発表を経て、消費者（観光客）に高い評価を得ている。軽井沢町商工会主催の軽井沢ブランド商品にも認定され、軽井沢発地市庭等で、通年で販売されている。

